

まちづくり交付金 事後評価シート
宇都宮東地区

平成19年12月

栃木県宇都宮市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宇都宮東地区
計画期間	平成16年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成19年度		
モニタリング実施時期	-	事後評価実施時期	平成19年4月～平成19年12月	フォローアップ実施時期	平成20年5月

1) 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	土地区画整理事業(城東地区)、まちづくり活動推進事業(まちづくり活動推進支援、ワークショップによる公園計画、樹木の里親制度)
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	・公園(近隣公園):[事業費:144百万円 96百万円] ・公園(街区公園):[事業費:296百万円 280百万円] ・まちづくり活動推進事業(ワークショップによる公園計画):[事業費:0.3百万円 0.1百万円]
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	・公園(近隣公園):整備内容の見直しによる事業費の減額(目標・数値指標への影響なし) ・公園(街区公園):整備内容の見直しによる事業費の減額(目標・数値指標への影響なし) ・まちづくり活動推進事業(ワークショップによる公園計画):整備内容の見直しによる事業費の減額(目標・数値指標への影響なし)

2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度			達成見込みの有無		効果発現要因
				モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見
指標1	人口定着	人	-						・土地区画整理事業や公園事業により、公共施設の整備改善や、宅地の利用増進を図り、良好な環境を有する安全で快適なまちづくりを行ってきた。 ・このため、目標値を上回る人口増加が見られ、魅力ある住居空間の創出の効果発現が認められた。
指標2	市立図書館貸出冊数	冊	-						・土地区画整理事業の実施により、区画道路を整備したことについて、利便性・安全性に優れた環境整備を回すため、当指標を用い、整備に対する効果発現を求めた。 ・しかし、一人当たりの図書貸出冊数の制限や、インターネットの普及などにより、目標とした数値を達成出来なかったが、市全体の貸出冊数と同等な伸び率を示している。
指標3	河川氾濫による浸水状況	戸	-						・土地区画整理事業の実施により、区画道路を整備すると共に、雨水排水施設の整備を行ったことで、床上・床下浸水がなくなったことから、防災機能に優れた環境整備の効果発現が認められた。

3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値			効果発現要因
				基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ	総合所見	
	その他の数値指標1	地域コミュニティの向上(コミュニティセンター利用者数)	人	7,500	H15		8,700		・土地区画整理事業の実施により、区画道路を整備したことで地区内の公益施設へのアクセシビリティを計った結果、コミュニティセンターへの利用者が増加している事実が認められたことにより、利便性・安全性に優れた環境整備の効果発現が認められた。
その他の数値指標2	公園を利用したイベントの参加人数	人	200	H15		1,200		・近隣(今泉中央)公園の整備後、地元主体の公園祭りが子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の参加により年2回開催され、地域コミュニティの向上に繋がっている。また、消防署員の指導による消化器の扱い方や正しい119番通報などもメニューに組み込まれ、防災意識の高揚にも繋がっている。	
その他の数値指標3									

4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	公園整備事業の実施にあたり、住民と協働でワークショップを行ったことで、地域住民のニーズを的確に捉え、施設等の整備内容に反映することができたことから、公園への住民の愛着が深まった。また、特別養護老人ホーム入所者のリハビリ利用や幼稚園児の野外学習など団体利用も日常的に見られ、効果発現が認められる。
-------------------------	---

5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
			予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	予定したが実施しなかった・できなかった	
	モニタリング	なし				
	住民参加プロセス	・公園整備計画についてワークショップにより策定				引き続き公園愛護会の設立に向け、働きかけていく。
	持続的なまちづくり	・公園愛護会の設立 ・樹木の里親制度の創設				公園愛護会の設立、樹木の里親制度への登録に向け、引き続き働きかけていく。

様式2 - 2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

宇都宮東地区(栃木県宇都宮市) まちづくり交付金の成果概要				
まちづくりの目標	広域都市圏の拠点都市としてふさわしい魅力ある地域づくり	まちづくり交付金の代表的成果	人口定着(人)	(-) 13,000(H4) 17,000(H19)
			河川氾濫による浸水状況(戸)	(-) 43(H3) 0(H19)
			地域コミュニティの向上(人)	(-) 7,500(H15) 8,700(H19)
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>都心地域にふさわしい安全で快適なまちづくりの実現を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内においては、基本インフラの整備が完了することから、魅力ある地域づくりを進める。 <p>コミュニティづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東コミュニティセンターや、城東コミュニティセンターなど地区内に整備されている既存施設を利用して、住民が地域交流を促進し、魅力あるまちづくりを進めるためにコミュニティづくりを支援する。 ・公園・緑地の継続的な維持管理体制づくり ・今泉中央公園ほか7公園について、合計11回のワークショップにより育まれた公園への愛着を継続させるため、樹木の里親制度や公園愛護会など住民参加の活動を今後も支援する。 <p>学校周辺の安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安全で快適な環境で過ごせるように、城東小学校や今泉小学校などの通学路の安全確保や、不審者対策として地元住民によるパトロールなど安全向上に努める。 <p>防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内に新たに建設された宇都宮東消防署と連携した防災訓練など、防災意識の高揚や知識・技術の普及啓発を行い、地域防災力の向上を図る。 			